

勝林寺寺報



私は但東町相田小学校で教わりました。あの東井義雄先生に教えて頂きました。

そのころ私は父なし子で末っ子でありまして、マアみんなから捨てられたようなものでしたから、そのひがみで先生方をてこずらしたものでした。

そのわたしが、思わぬ縁で、はたち前に結婚して、すぐに子供ができて、さあ子育てという段になったとき、途方にくれて、先生をそのとき思い出して、恥ずかしかつたので、あれこれほかのことを書いて、それとなく子育ての極意を尋ねて手紙を出しました。

先生からすぐに返事が来ました。長いへんじの手紙でしたが、要するに

根を養えば樹は自ら育つ

ということでした。根を養えば樹は自ら育つ

こら、おまえしつかりせエ。ということでした。

お前自身がしゃんとして、お前のいきざま通して、あたたかいもの、貴いもの、美しいもの、真実なもの、そんな肥やしをしてやったら、子はその養分で根を養って、勝手に育っていくもんじゃない。

批判して

くれる貴方が 善知識

在任組 藤木 繁昌



手紙にはそう書いてあったが、そのころ貧乏のどん底の私には、そのあたたかいもの、美しいもの、なんでも、どこを探してもない。どうしたもんかと思いましたが。しかし大東井先生のおしえを無駄にしてはと考えたすえ、気がついたのがお仏壇でありました。

わたしは勉強が大きらいで、机に座るのがにがてでしたが、不思議とお説教を聞くのは好きでしたから、この「真実」という如来様のことはちよくちよく耳にはさんでおりました。「真実」いうのは「いつわらずへつらわず、かならずもののみとなる」。これはあとから教えてもらったことですが、親鸞様はそう言うておられるのだそうです。

親父面して嘘いうな
ごどもに へつらうな
自分のいのちを がっちり生きたら
その肥やしは 自然に子供の身につく
子は勝手に育つんや

東井先生は浄土真宗のお寺さんでしたから、親鸞さまとひとつになつて、小さいときからこの年老いた今まで、ずっと私を、導いてくださったっていいのです。その先生がなくなつてもう四年になります。

おしらせ

「経費割り」のことにつきまして、昭和59年現行割り金額に改訂致しましてより、殆ど毎年割り額値上げを検討して参りましたが、諸般の事情により今日まで据え置かれて参りました。従つて近年は他の個人会計からの補填をえてようやく収支決算致してまいりました。

平成六年度代議員会で決議を得た手続きにより、先般地区別に意見聴取のところ、提案通り、平成七年度予算は左の割り金額にて編成提案させていただくこととなりました。各位のご理解に感謝し、あらためておしらせ申し上げます。

- 記
- 一等 (八一戸) 戸別一五〇〇〇円
- 二等 (九八戸) 戸別一三〇〇〇円
- 三等 (三一戸) 戸別 七〇〇〇円

十月二十八日

勝林寺住職 西池 哲俊
勝林寺門徒総代一同

報恩講

11月21日 夜7時 (ご伝鈔)
8時 (勤行・説教)

22日 昼10時 (勤行・説教)



ご講師

福知山・田和の誓応寺

河△△

秀乃 護師

☆いつもの通りマイクロバス運行します。多数ご参詣ください。

十一月のこよみ

- 一日 中央教習 (大谷本願) 宗務員研修会 (本山)
- 二日 出石組任職寺族同朋講座
- 三日 光頭寺報恩講
- 四日 同
- 五日 同
- 六日 山田忠雄氏宅忌明 吉祥寺忌明
- 七日 いわみがき奉仕
- 八日 浜考司氏宅法事
- 九日 基幹運動第二部会 宗務員研修 (本願) 得度習礼
- 十日 玉日会定例法座
- 十一日 和歌山教区寺族婦人研修会
- 十二日 宮嶋達也氏宅法事
- 十三日 高福寺報恩講
- 十四日 大石昌一氏宅法事
- 十五日 法法輪△△定定期研修 △△
- 十六日 高福寺報恩講
- 十七日 西方寺報恩講
- 十八日 同
- 十九日 福成寺報恩講
- 二十日 同
- 二十一日 十六夜会定例法座 (高福寺)
- 二十二日 兼井隆夫氏宅法事
- 二十三日 報恩講
- 二十四日 報恩講
- 二十五日 正福寺報恩講
- 二十六日 同
- 二十七日 島根瑞泉寺報恩講
- 二十八日 同
- 二十九日 みのりを聞く会定例法座
- 三十日 玉井克彌氏宅祥月
- 三十一日 出石組同朋講座



親がかわれば

今週のお寺の掲示黑板には

親がかわれば

こどもも変わる

と書いてありました。



わたしはもうとくに子育てから卒業して、夫も七年前に見送って、今は一人で安穩のんきにいらしている年よりであります。最近には人に誘われ早朝散歩などに出掛けます。

「アラ書き変わってるワ」
友達が言いますので、気がつきました。

親がかわれば
こどもも変わる

男の子三人。同じ親から生まれても、それぞれみんな違います。一人一人違う子に振り回されて苦労させられました。その苦労の真っ最中で私は、突然体調を崩し、まる二年入院してしまいました。

上は大学、下二人が高校。
一年に二度や三度は学校から呼び出しがあったその最中でしたから、入院していても、もう居ても立ってもおられませんでした。

そんなとき、お姑さん、おばあちゃん
がこんなふうにごうごうと泣いていました。

「みんなあんなに大きくなったんやから、いまさら親の思い通りにしようたつて無理だよ。子供の思い通りにさせておやり。子供のことよりあなた自身が大事だよ。あなたがイライラがみがみしていいチャーム」って。

それでおばあちゃん、くちぐせのお念仏唱えるのです。

「人がこれだけ苦しんでるのに」と、
おばあちゃんの称える念佛にも腹が立つ

たものですが、今から思うとおばあちゃんのおっしゃる通りでした。
わたしが入院したおかげで、子離れしたおかげで、三人の子が、めいめいに頑張って、それぞれに立派に育ってくれました。
ふと気がついて見ると、わたしおばあちゃんから、口癖のお念佛までいただいているのです。

親がかわれば 子も変わる

掲示黑板のままで、今は亡きおばあちゃん口癖の「南無阿弥陀仏」を称えさせて頂きました。

盛大に 別修 (敬老) 報恩講

老若 100 人の お正信偈 大合唱



十月二十三日の別修報恩講には、七〇歳以上の招待者と仏壯・仏婦会員を含め丁度一〇〇人もの参詣がありました。例年の通り宮嶋千秋総代理様仕のマイクロボスの送迎と好天によるのはもちろんですが、随分前日から募集に準備に誠心誠意尽力くださった役員の方々の成果であったと思えます。こうして門信徒みんなが立ち立ってくださる寺を今更ながら有り難く思ったこととさせていただきます。
お正信偈・ご法話のあと、食事を共にしながらの懇親会でした。総代さんや招待者代表のご挨拶。ついで奥野(歌・おどり)谷垣(尺八)関森(三味線・うた)の特別出演、また上小田婦人の大正琴の合奏。それに今年カラオケCD一式が設備されそのため九時までひっきりなしの盛り上がりでありました。
「十一月の報恩講にお揃いでお参りください」
「来年の別修にはまたお世話になります」挨拶を交わしながら秋の月夜のお別れでありました。



法輪会

秋季定期研修会

十一月十二日 (日)

会場 但東町平田 専福寺
時間 午後一時半受付
講師 久美浜・金剛寺
川上 教朗師



死んだカールは
ほとけさま

(死んだカールにたくさんの
おくやみをいただきました)

お寺の犬が、死んだんだそうですね。
『寺報』で知ってびっくりしました。

わたし幼稚園のころからお寺のことも
研修会に行っていて、亡くなったカール
とはおなじみだったのです。

こども研修会の朝のお散歩のとき、カ
ールの鎖をもちたしてもらったこともあり
ました。白いフサフサした毛の尻尾のりっ
ぱな大きな犬だったけど、目がとっても
やさしくて、さすがお寺の犬というだけ
のことはありました。

毎朝、お寺の本堂の屋根にぐるぐる大きな
鷹となかよしというはなしも聞いたこと
があります。

朝、お勤めのおしまいの鐘がガーンと
なったら、カールはワンワン鳴きます。
ほんとうは、お経が終わったら散歩に
連れて行ってもらえることがわかってい
るので、早く早くと催促して鳴くのです
が、寺の近所のおばさんたちは、
「さすがお寺の犬ですね。お経を唱え
てる」
と聞いていたそうですが、わたしもそれ
が本当だと今でも思っています。

十五年もお経を聞いていたんですから、
きっと、なにを言うにもお経さんのこと
ばをいつていたのだと思います。

こども会で十年表彰をうけた私よりも、
あのカールはずっとと仏様になって
いたんだと思います。

おおきな体で、とても優しい顔のカ
ールは、わたしたちよりもすばらしくきれ
いないのちを生きて、そして最後に、仏
様に生まれ変わったに違いないと思いま
す。

やはりカールは、毎朝おつとめを聞いて
いたのです。

どんな生き物でも、ほとけさまの目か
らみたら、みんな同じかわいい子供なの
だ、ほとけさまの子供なのだというはな
しをいつか聞いたことがあります。

「ぼくはさいさいころからカールちゃん
がすきでした。
そんでカールちゃんがいなくなると
さびしいです。
またおほかみかみしたいです。
でも、ぼりいらないと
さびしいです。」
と、お寺の
おとぎ話

